

第21期第9回常任理事会議事録

日時 昭和56年4月11日(土) 9.45~12.30

場所 気象庁観測部会議室

出席者 岸保, 小平, 浅井, 荒井, 黒木, 杉村, 竹内,
二宮, 松本, 増田, 村山

報告

[会計] 基金に200万円, 100周年記念事業費に500万円を本年度会計に計上した。また, 4月6日に昭和55年度科学研究費補助金「研究成果刊行費」240万円に対する実績報告を文部省に提出した。計画567頁に対し実績は625頁であった。

[気象研究ノート] 順調に進捗している。141号 気候変動(Ⅱ), 142号 エアロゾル, 以下発刊予定は気象情報処理と解析, 気象の遠隔測定, 大気大循環, 気象教育, 南極の気象(企画)大気不安定等である。

[学会賞 藤原賞] 受賞候補者について, 全理事27名に投票を依頼したところ24名から投票があり, 浅野正二会員に1名の白票があった以外は, 全員賛成があった。また, 山本賞についても全員賛成があった。(山本賞については代理報告)

[各賞] 岡田賞に根本順吉会員が決定した。

議題

1. 春季大会の準備について

(1) 理事長あいさつ

100周年記念事業のことを強調したい。

(2) 昭和55年度事業経過報告(案)

(3) 昭和56年度事業計画(案)

以上2件について, 原案修正することにより承認。

(4) 昭和55年度予算, 決算について

(5) 昭和56年度予算(案)について

(4), (5)については資料の準備ができなかったため, 5月はじめに常任理事会を開き審議することになった。

2. 100周年記念事業について

記念切手発行の件は, 可能性が薄いため取りやめることになった。

3. 昭和57年度秋季大会の当番支部について,

北海道支部が当番にあたるので, あらかじめ了解を得ておくようにする。

4. 気象研究所有志からの「測候所の夜間閉鎖に関する要望書(案)」について,

前回に引き続き, 4月1日から, 気象庁で実施の全国14か所の測候所の夜間閉鎖の問題について, 昭和44年総会資料等を参考にして意見を出し合い討論した結果, 長期計画委員会を拡充して観測網について検討することになった。経過については, 庶務担当理事から書面で回答することとした。

5. その他

(1) 昭和55年度会計監査について

田中貞三監事(名瀬測候所長)には, 4月末頃に出張してもらい監査を受ける。旅費は学会で負担することが承認された。なお, 当舎万寿夫監事は, 休職中であるため, 佐藤事務局長が筑波へ出張して監査を受けることになった。

(2) 気象集誌の編集委員について

金吉正郎氏(電子計算室)を委員に追加することが承認された。

(3) NHKへ「天気」の寄贈について,

NHKで毎週「テレビ气象台」を放送することになり, 「天気」を参考にしたいとのことで寄贈の申し出があり, 寄贈することが承認された。

承認事項 瀬良義郎ほか8名の新入会員を承認。